

一般質問

和田
議員

○調川地区における新たな水産加工団地用地造成の計画について

質 加工・物流の拠点として、巨額の費用を投じて完成した松浦魚市場再整備事業の施設を効率的かつ効果的に生かすためにも、新水産加工団地の用地造成は必要不可欠であり、早期に実現させなければなりません。調川港の廃棄物埋立護岸整備事業の県事業採択、早期の事業着手に向けて市長の考えをお尋ねします。

市長 再整備を終え、4月から全面供用を開始した松浦魚市場は、輸出を見据えた高度衛生管理型の魚市場であり、この機能を活用し、経済波及効果を地域にもたらすためには、水揚げだけではなく、地元で加工を行い、付加価値を高めて地域にお金を落とすことが大切であると考えています。松浦魚市場の再整備事業の効果を最大限に発揮し、水産物の食料基地として水産関係企業の事業拡大を推進するためには、新たな用地造成が急務であり、これにより県内の大中型まき網漁業や地元漁業、養殖業の振興はもとより、今後、アジア圏をはじめとした海外水産物需要の増大が想定される中で、長崎県が取り組む水産物輸出拡大の拠点とし

ても大きな役割を果たすものと考えています。このため、調川港の廃棄物埋立護岸整備事業の県事業採択に向け、引き続き関係者との意見交換を重ね、皆さまのご理解をいただいた上で事業が早期に実現できるよう鋭意努力を続けていきます。

○「小学校区を対象とした協働によるまちづくり」について

質 今年度の施政方針の中でも述べられておりますが、予定されている具体的な内容と今後にかける思いをお聞かせください。

市長 今年度は3つの事業を実施する予定です。1つ目は、小学校区単位によるまちづくりへの機運醸成を図るため、地域版未来会議を開催します。2つ目は、地域での対話による話し合いが促進されるよう令和2年度に市民ファシリテーターの人材育成を行いましたので、今年度はその方々に実践の場として地域版未来会議を運営してもらうこととしていきます。3つ目は、市が協働によるまちづくり指針を策定した上で、地域運営組織立ち上げに向けたワークショップの開催および地域のまちづくり計画策定の支援を計画しています。この3つの取り組みにより市民の皆さまが、まちづくりに対して主体的に関わっていただけるような環境を作り、地域運営組織の設立に向けて機運醸成を図っていきます。

一般質問

山崎
議員

○松浦市再生可能エネルギー導入進計画について

質 松浦市再生可能エネルギー導入推進計画に対するパブリックコメントが3月22日～4月21日まで実施されました。市の回答で『地域の理解』というワードが多く使われていました。これの地域の範囲はどれくらいになりますか。

地域経済活性化課長 市が実施主体となつてこの事業を計画する場合には、市は本計画の風力発電を設置する箇所から半径800メートルの範囲に含まれる自治会および隣接する自治会には説明が必要であると考えています。

質 この800メートルの根拠は。地域経済活性化課長 環境省が示している騒音に関する苦情が、おおよそ800メートルを境に減退しているという調査結果を基に、協議会の中で専門的な委員さんからのご意見もいただきながら800メートルという基準にしています。

質 風力発電が普及し始めて約20年ですが、この環境省のデータは約11年前のものになります。このデータを基にするには古すぎませんか。また、このデータで苦情事例が25事例

しかありません。本当にこの11年前の環境省の実態把握調査は当てにならないのでしょうか。

地域経済活性化課長 現段階で示されているデータがそれだという判断をしておりますので、現状ではそれを参考にさせていただきたいと考えています。

○農業振興について

質 これから農業の発展にはビニールハウスやガラス温室の施設を増やしていくことが重要と考えます。市の戦略産品（農産物）も施設栽培でしかできません。これから施設増、あるいは施設維持していくために市で対策されていることはありますか。

農林課長 現在、施設などを設置する場合の対策としては補助事業しかありませんので、面積の拡大につきまして農協と連携を図りながら、国や県の事業を有効に活用していただけるように情報提供しているところです。

質 市外から古施設鉄骨の情報を松浦市で有利に得る方法はありませんか。

農林課長 農協管内の市町の情報を共有することは可能です。管内の農協や県、市で構成する県北農業振興協議会の中に、野菜部会や果樹部会などがあり、定期的に会議も開かれていますので、ぜひその中で提案していきたいと思えます。